

◇ 稲村ヶ岳

2017年12月15日(金)

岡本・嶋原

12月にしては寒い日が続き、そろそろ樹氷が楽しめるようなタイミング。嫌がる嶋原さんを誘い稲村ヶ岳へ行く。途中、思いの外雪が少なく、道路の凍結も洞川に入ってからだと、少し心配しつつ母子堂に着く。車が2台駐まっておき、ラッセルの心配はあまり無さそうだ。

7:40出発、先の人を抜かないようスローペースで歩く。気温が低く下は凍っているものの積雪は殆ど無い。順調に法力峠まで行く。この辺りから積雪はあるものの、大したこともなくアイゼン無しで十分に歩ける。標高1,400m辺りまで来ると段々樹氷が綺麗になってくる。雪も深くなく、踏み跡もあり、おまけに快晴と、最高の条件だ。適当に写真を撮りながら稲村小屋を目指す。いくつかの急斜面を夏道に沿ってトラバースして山上辻に到着する。それほど深い雪ではないが、やはり晴れた日の樹氷は綺麗だ。



(樹氷1)

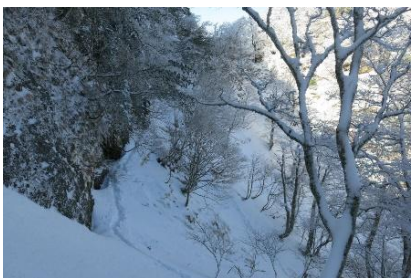


(樹氷2)



(稲村小屋手前)

小屋で暫く休んでから出発。夏道ルートに踏み跡があり進んで行くと前から1人来る。確認すると夏道ルートで山頂まで行けるとのこと、ラッキーと叫んでしまう。大日岳のトラバースも楽勝で通過し、山頂を目指す。



(大日岳トラバース)



(大日岳)



(山頂手前から山上ヶ岳)

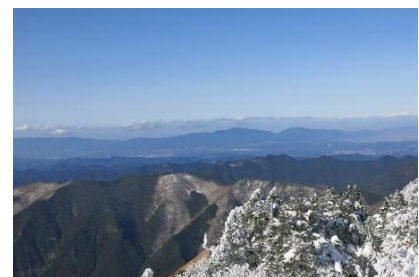
誰一人人もいない山頂は、快晴の大パノラマだ。何度も冬に稲村に来ているが、風も殆ど無く、天気がこれほど良かったのは数度しか思い出せない。40分程景色を楽しみ、惜しみながら下山。中々の山行でした。



(山頂から大普賢岳方面)



(山頂から弥山方面)



(山頂から金剛・葛城山方面)

《行程》 7:40 出発→8:40 法力峠→10:15 稲村小屋 10:40→11:35 山頂 12:15→12:55 稲村小屋
→15:00 下山